



資産増
PROJECT

平成 24 年 3 月 19 日

各 位

株 式 会 社 S B I 証 券
代表取締役社長 澤田 安太郎
カブドットコム証券株式会社
代表執行役社長 齋藤 正勝
マネックス証券株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
楽 天 証 券 株 式 会 社
代表取締役社長 楠 雄治

インターネット証券 4 社共同実施 「投資信託に関わるアンケート」の結果について

株式会社 SBI 証券、カブドットコム証券株式会社、マネックス証券株式会社および楽天証券株式会社の 4 社（以下、「ネット証券 4 社」）は、個人投資家を対象とした投資信託に関わるアンケートを下記の通り実施いたしましたので、お知らせいたします。

ネット証券 4 社では、投資信託の販売ならびに投資信託による資産運用の普及啓蒙活動などを共同で行うプロジェクト「資産増プロジェクト」を 2011 年 3 月にスタートし、4 社専用ファンドの販売、共同イベントの開催、共同書籍の発行などさまざまな活動を行ってまいりました。

プロジェクトのスタートから 1 年が経過し、このたび、個人投資家の皆様のご意見を伺うアンケートを共同で実施いたしました。本アンケートの結果は、今後のプロジェクトでの取り組みや関係当局への提言など、投資信託市場活性化のために役立ててまいりたいと考えております。

記

「投資信託に関わるアンケート」について

【調査概要】

方法：インターネット調査

対象：ネット証券 4 社に口座を保有する個人投資家

期間：2012 年 3 月 2 日（金）～3 月 8 日（木）

回答数：14,150 名

【主なアンケート結果（小数点以下、四捨五入）】

●投資信託を選ぶ際に重視するポイント（複数回答可）

- ・「コストの安さ」54%
- ・「過去の運用実績のよさ」41%

- ・「分配金の有無・水準」40%
- ネット証券の投資信託に期待すること（複数回答可）
 - ・「ネットビジネスである以上、あくまで低コストを追求してほしい」60%
 - ・「シンプルで手数料の安いファンドに重点を置いてほしい」56%
- ネット証券4社に期待すること（複数回答可）
 - ・「投資家へのサービス向上に共同で取り組んでほしい」67%
 - ・「ネット投資家の要望や期待を当局に伝える役割を担ってほしい」37%
 - ・「個人投資家への投資啓蒙活動に力を入れてほしい」31%
- 分配金が運用益以外の元本からも支払われているファンドがあることについて
 - ・「購入する前から知っていた」44%
 - ・「購入した後で知ったが、特に問題はない」21%
 - ・「購入した後で知ったが、知っていたら購入しなかった」17%
 - ・「知らない」18%
- 通貨選択型のような複雑な仕組みを持つ商品の販売について
 - ・「どのような商品性でも、投資家が選択できるよう揃えておくべきだ」60%
 - ・「一般投資家が商品性を理解しにくい商品は販売するべきではない」32%

アンケートの設問内容および結果につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

【株式会社 SBI 証券について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会

【カブドットコム証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号
加入協会：日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
加入協会：日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会・社団法人日本証券投資顧問業協会

【楽天証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会・日本商品先物取引協会

投資信託取引等に関する重要事項

■ リスク

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので基準価額は上昇することもあれば下落することもあります。従って投資元本及び分配金の保証された商品ではありません。また、投資信託は商品ごとに様々なリスクがあり、以下は一般的なものを示したものにすぎませんので、ご購入の際には銘柄ごとの「目論見書」、「目論見書補完書面」の内容をご確認ください。

・ 組み入れた株式、債券及び商品等の価格の変動（組み入れ商品が外貨建てである場合には通貨価格の変動も受けます。）に基づいて基準価額が下落することにより、投資元本を割り込み、損失（元本欠損）が生じるおそれがあります。

・ 組み入れた株式、債券及び商品等の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等に基づいて基準価額が下落することにより、投資元本を割り込み、損失（元本欠損）が生じるおそれがあります。



・ 外貨建て投資信託（外貨建てMMF等）は、外国為替相場の変動などによりお受取金額が変動し、外貨建てでは投資元本を割り込んでいなくても、円換算での投資元本を割り込み、損失（元本欠損）が生じるおそれがあります。

■ 手数料 投資信託取引にあたっては、以下の手数料等をご負担いただきます。

- ・ 申込手数料：申込金額に対して最大4.2%（税込）を乗じた額
- ・ 信託財産留保額（購入時・換金時の直接的な負担費用）：約定日、又はその翌営業日の基準価額に最大計6.0%を乗じた額
- ・ 信託報酬（保有期間中の間接的な負担費用）：純資産総額に対して最大3.0041%（年率・税込）を乗じた額
- ・ 運用成績に応じた成功報酬やその他の費用を間接的にご負担いただく場合があります。その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ・ 手数料（費用）の合計額については、申込金額、保有期間等の各条件により異なりますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。

■ その他

- ・ お申込み／ご購入にあたっては「目論見書」、「目論見書補完書面」をご覧ください、取引の仕組みやリスク・手数料等についてご確認ください。

【お問合せ先】

株式会社SBI証券 経営企画部	児玉	電話	03-5562-7215
カブドットコム証券株式会社 営業本部	臼田	電話	03-3551-7456
マネックス証券株式会社 マーケティング部 PR担当	町田	電話	03-6212-3800
楽天証券株式会社 マーケティング部 広報担当	中原	電話	03-6739-1466

インターネット証券 4 社共同実施「投資信託に関わるアンケート」の結果

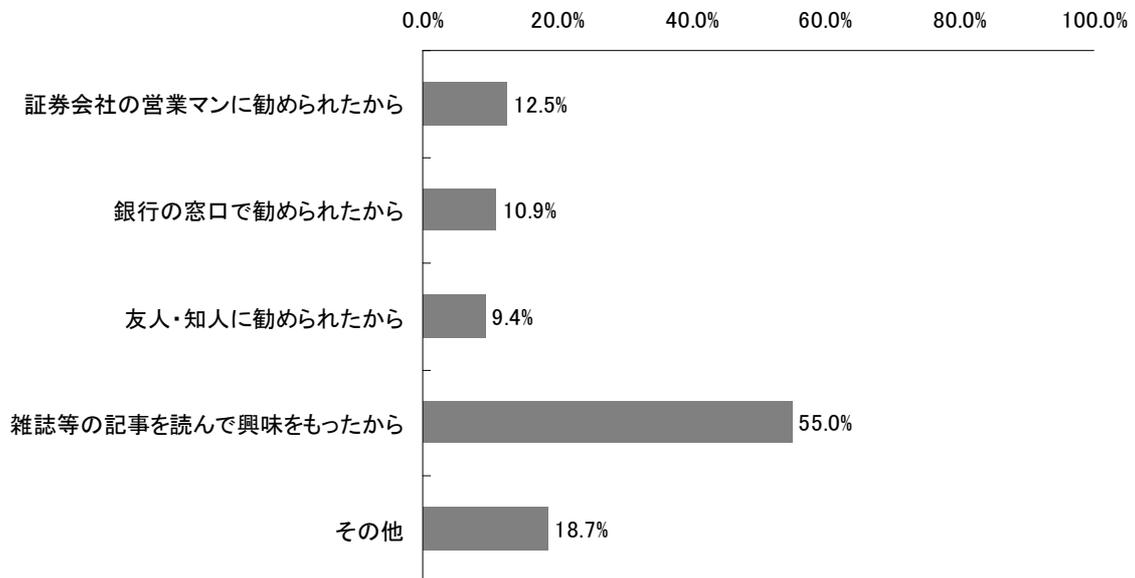
本アンケートは、選択式で回答する質問 10 問にて実施しました。

【Q1】 投資信託を最初に購入したきっかけはなんですか？

「雑誌等の記事を読んで興味をもったから」という回答が最も多く、その他の意見でも散見された「ネット証券の提供する情報やセミナー」「著名投資家等の発信する情報」「自分で調べて」といった理由をあわせると、自ら学び収集した情報を元に購入する投資家が多いという傾向が見受けられました。

他方、営業マンや周囲の人からの勧めで購入した投資家も 3 分の 1 を占めており、その他の意見でも「401k（確定拠出年金）」「相続」といった外部要因がきっかけとなることも依然多いと言えます。

なお、その他の意見の多くは、「投資信託を購入したことがない」というものであります。

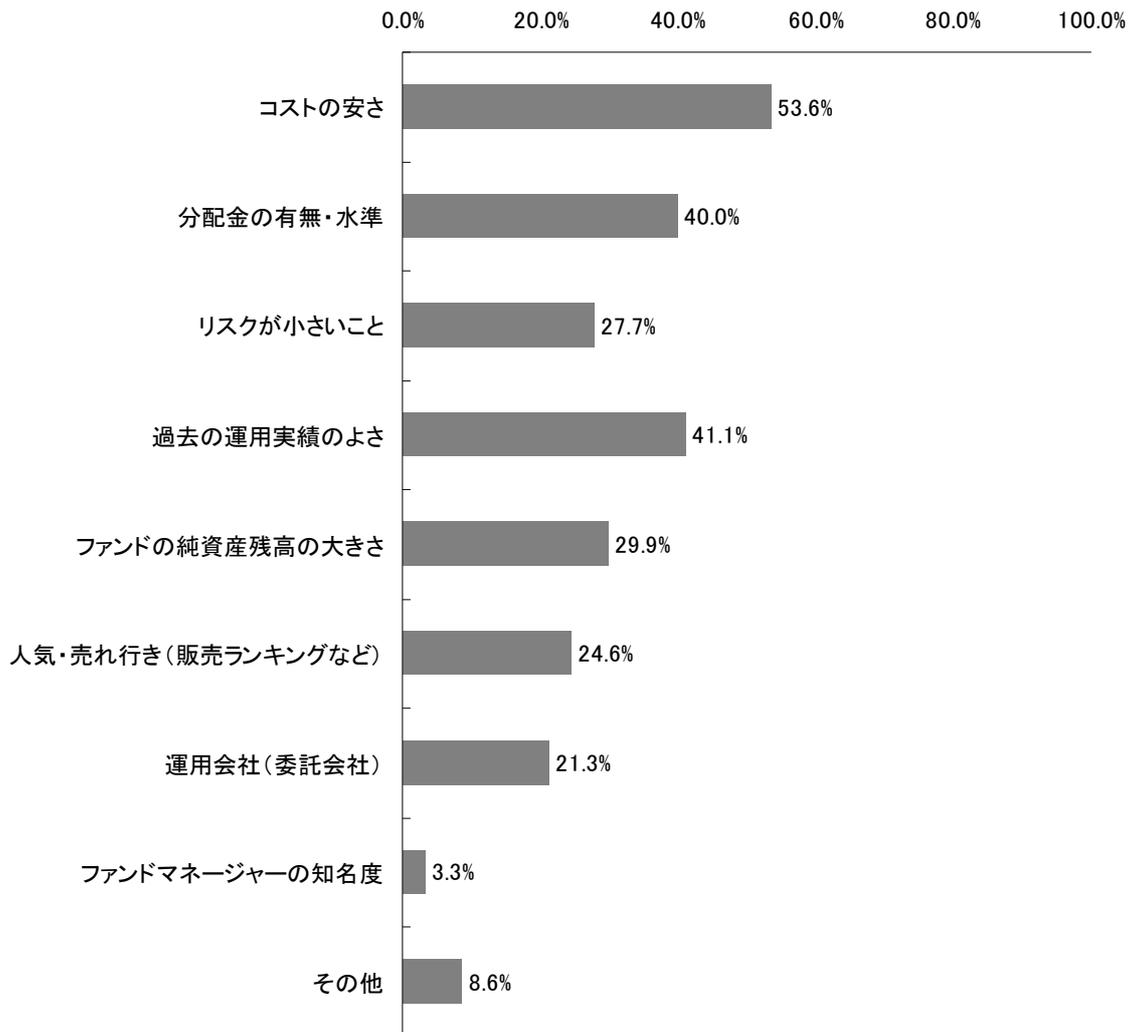


【Q2】 投資信託を選ぶ際に何を重点に選びますか？

最も多かったのは「コストの安さ」であり、ネット証券の投資信託に期待すること（Q5）として「ネットビジネスである以上、あくまで低コストを追及してほしい」「シンプルで手数料の安いファンドに重点を置いてほしい」の2つの回答が格段に多かったこととあわせると、ネット投資家はコスト意識が高い、という一般的な印象を裏付ける結果となりました。なお、その他の意見の中には、「ノーロード」の回答も散見されました。

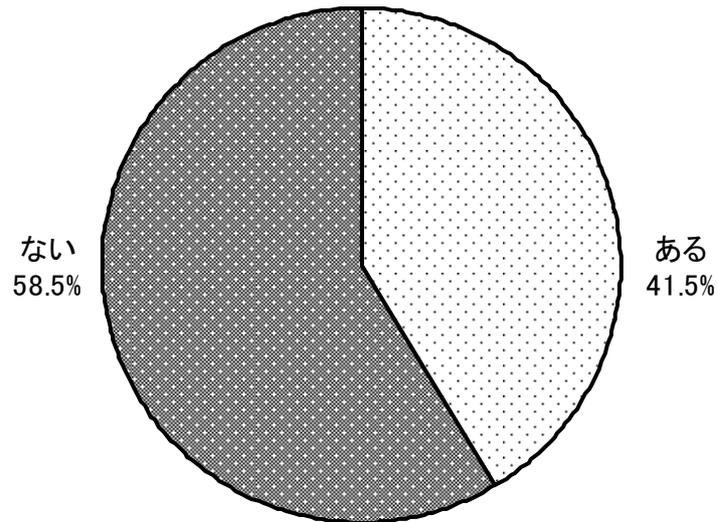
また、3番目に多かった回答は「分配金の水準・有無」であり、ネット投資家の中にも、分配型投信への関心が高い投資家層が今や相当の割合で存在していることが窺われます。

その他の意見としては、「投資対象・投資分野」「投資地域」「投資テーマ」「投資先」「インデックス」といった商品性を重視するものが目立ちました。



【Q3】 銀行や対面証券で投信を購入したことがありますか？

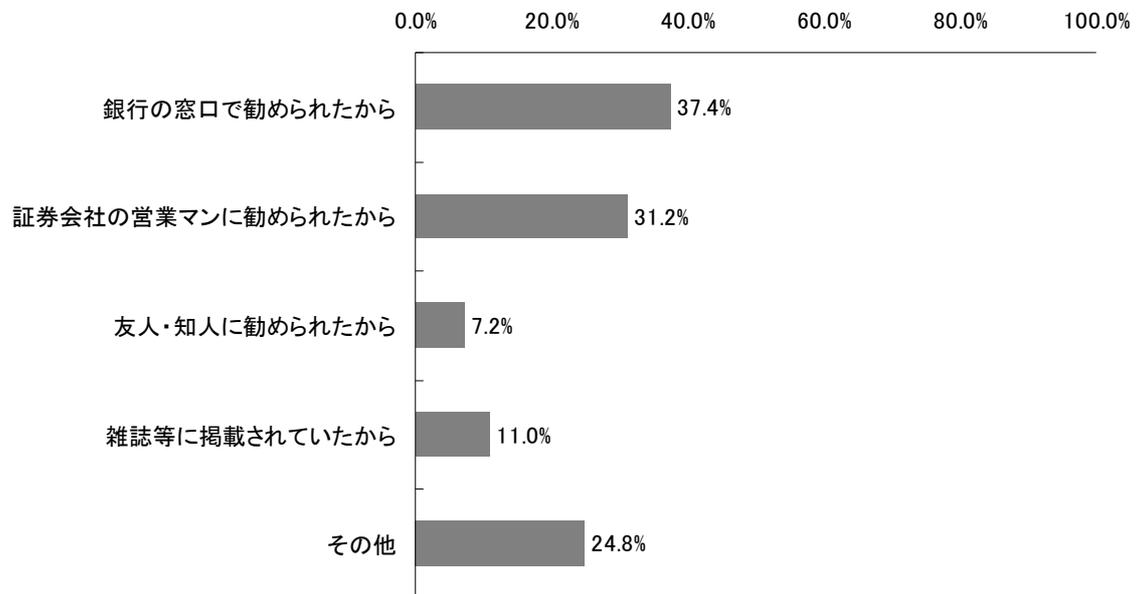
「銀行や対面証券で投信を購入したことがある」投資家は4割を超えていますが、銀行や対面証券で投信を購入する理由（Q4）のその他の意見で「当時はネットで買えなかったから」という回答が散見されたことからすると、必ずしもネット証券と銀行・対面証券を併用しているというわけではないようです。



【Q4】 ネット証券ではなく、銀行や対面証券で投信を購入する理由をお教えてください。

最も多かったのは、「証券会社の営業マンに勧められたから」ではなく、「銀行の窓口で勧められたから」となり、投資信託の購入先として銀行窓口が主流となっていることが見受けられます。

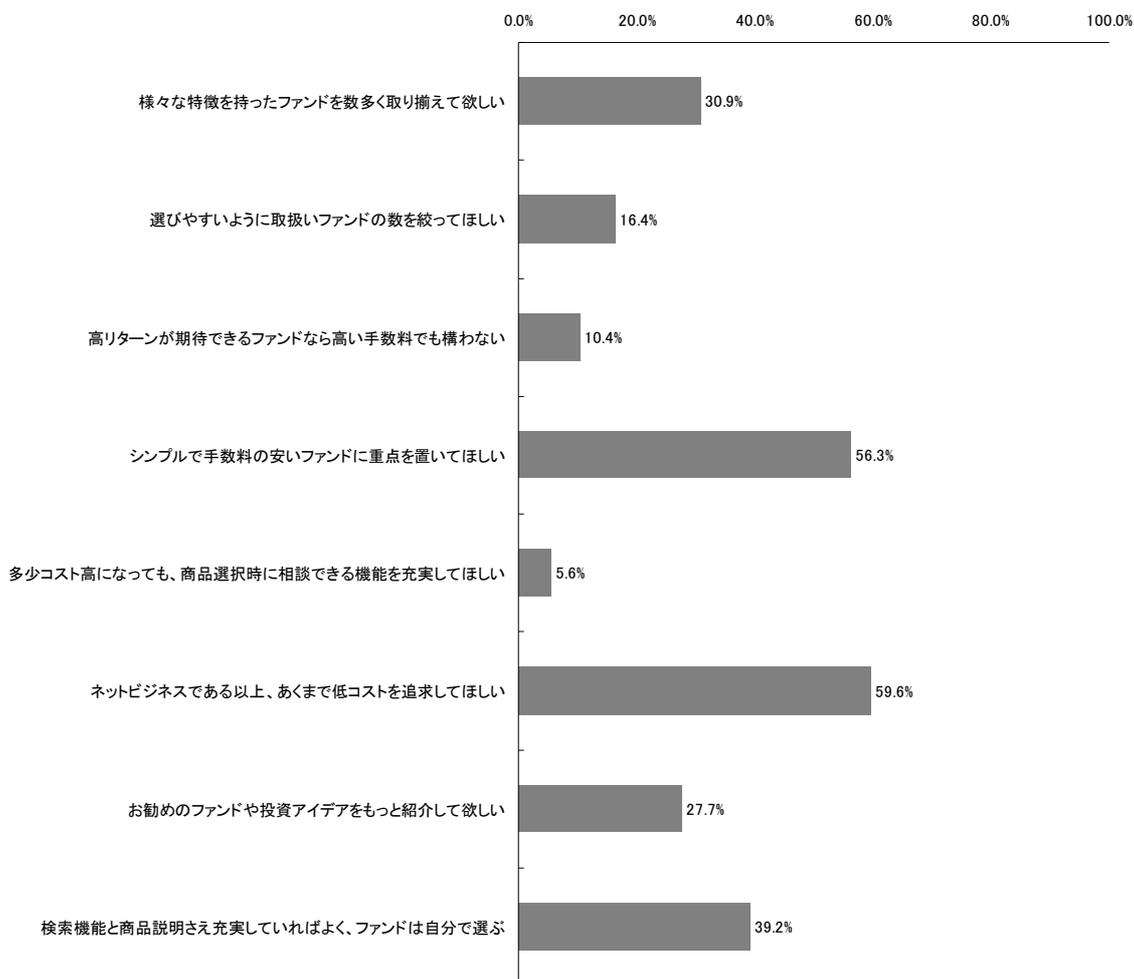
その他の意見としては、「説明を聞くため」という理由が多く、投資信託の商品性が多様・複雑になっていることから、投資家自身で判断することが難しくなっていることが窺われたほか、「ネット証券で販売していなかった」「その銀行・証券会社でしか取り扱っていなかった」など、販売会社によって取り扱える投資信託が異なることが原因と推測される回答も散見されました。



【Q5】 ネット証券の投資信託に期待することは何ですか？

「ネットビジネスである以上、あくまで低コストを追求してほしい」「シンプルで手数料の安いファンドに重点を置いてほしい」の2つの回答が突出しており、「低コスト」を求める声が断然多い結果となりました。

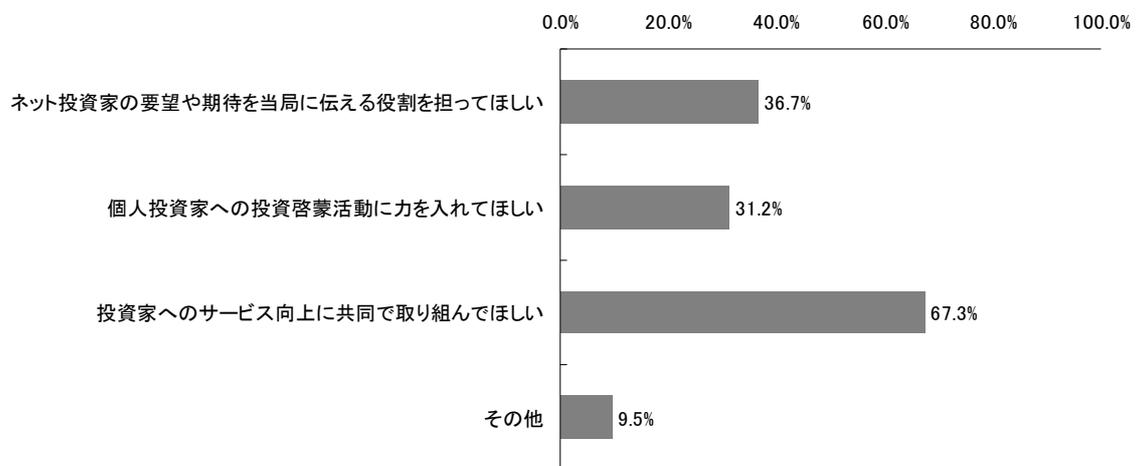
一方、「検索機能と商品説明さえ充実していればよく、ファンドは自分で選ぶ」や「お勧めのファンドや投資アイデアをもっと紹介してほしい」という回答も多く、コストを払ってまでは嫌だけれども、投資の参考になる情報は欲しいという投資家もかなりいることが推測されます。



【Q6】 ネット証券4社に期待することは何ですか？

最も多かったのは「投資家へのサービス向上に共同で取り組んでほしい」であり、ネット投資家は、ネット証券会社間での切磋琢磨による低コスト化だけでなく、「資産倍増プロジェクト」のように今後力を合わせていくことについても強く期待していることが確認できます。

その他の意見としては、これまでネット証券が投資家の支持を集めてきた背景である販売手数料や信託報酬などのコストの低減を求めるものが多く、情報の充実を求める回答も目立ちました。

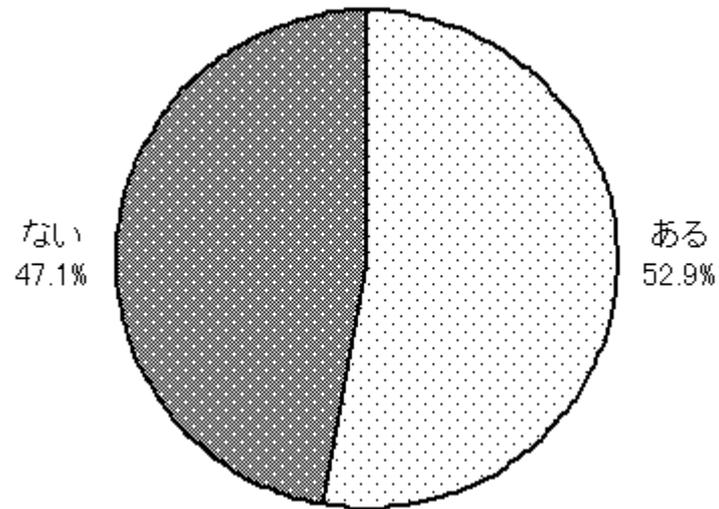


添付資料



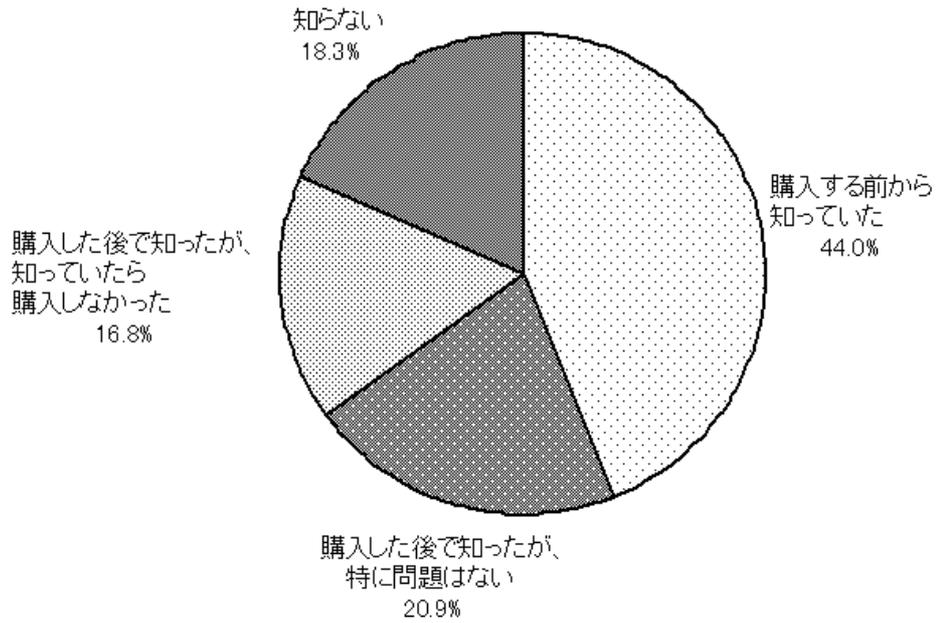
【Q7】 現在話題になっており、購入者も多い毎月分配型の投信についてお聞きします。毎月分配型の投資信託を購入したことがありますか？

ネット投資家においても、半分以上の方が毎月分配型投信を購入しているという結果となりました。



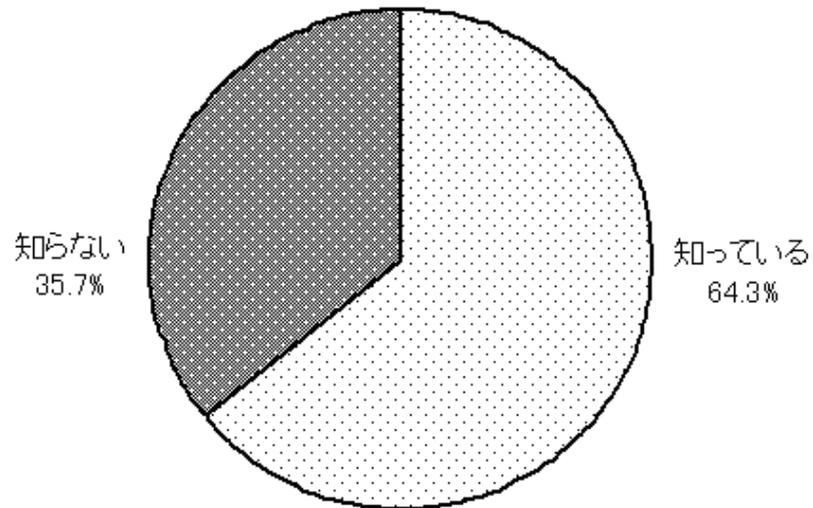
【Q8】 分配金が運用益以外の元本からも支払われているファンドがあることをご存知でしょうか？

新聞でも取り上げられ、当局も問題視しておりますが、「購入する前から知っていた」「購入した後で知ったが、特に問題はない」の2つの回答が3分の2を占めており、比較的文リテラシーの高いといわれるネット投資家の間では大きく問題視していない方が多いようです。



【Q9】通貨選択型の投資信託をご存知でしょうか？

「知っている」と回答した方が「知らない」と回答した方を上回る結果となりました。



【Q10】通貨選択型の投資信託は、仕組みが複雑な一方で、通貨選択型ではない同類の投資信託に比べ高い分配金を出すことを目指す商品設計になっています。このような商品性についてどのようにお考えでしょうか？

「どのような商品性でも、投資家が選択できるよう揃えておくべきだ」との意見が「一般投資家が商品性を理解しにくい商品は販売するべきではない」を大きく上回りましたが、後者の意見も3分の1近くを占めました。このことからすると、ネット投資家には自己完結型（自分で選ぶ）が多いと考えられてきましたが、投資対象商品の選択肢の多さだけでなく、「安心」を求める投資家も増えてきていると考えられます。

なお、その他の意見としては、「投資は自己責任」という意見が多く寄せられましたが、その前提として「商品説明をしっかり行う」「リスクを明示する」ことに言及している回答も散見されました。

